

～ 4代目の橋に生まれ変わりました～

整備目的及び整備効果

- ・ 一般県道米川飯田線は、飯田市千代地区と駄科地区を結び、通勤・通学に利用される生活道路です。この両地区を隔てる一級河川天竜川を渡る「天龍橋」は、昭和10年に架橋された3代目の橋梁です。架設から73年が経過しており、床版・橋台等の老朽化が著しく、また、河積を阻害するなど支障をきたしていました。
 - ・ 本路線の西側では、平成14年度に治水対策事業が完成しており、区画整理事業地内では工場等の立地も進められています。
(天龍峡エコバレープロジェクト)
- また、平成20年4月に三遠南信自動車道の天龍峡インターチェンジが供用を開始しており、天龍橋周辺の交通量の増加が予想されています。
- ・ 本事業では、4代目となる「天龍橋」の架け替え工事を実施し、平成22年3月の開通により、安全で円滑な交通の確保と、治水安全度の向上が図られました。



整備前



整備後

H22.3.14 完成供用